

全国環境連

2月号

令和7年 新春懇談会を開催

全国環境連は、環境推進研究会と共催のもと、1月15日に東京都千代田区「海運クラブ」において新春懇談会を開催し、環境整備議員連盟の国会議員及び環境省並びに関係団体から多くのご来賓に出席いただいた。

開会に当たり、全国環境連河野正美会長が「全国環境連は今年で創立22年目を迎え、昨年は創立20周年全国大会を開催することができました。創立以来、ご理解とご協力を頂いている全国の会員の皆様、そして日頃からご指導を頂いている環境省をはじめ、関係機関、団体の皆様に感謝を申し上げます。

今、全国的に、下水道事業の経営改善にむけて、実施段階に入っている処理場の統廃合による広域化については、新たな管路施設の建設、維持管理、更新の必要が生じることを踏まえ、将来の人口を客観的に、正しく予測した上で、真に経営の改善につながる場合にだけ限られるべきだと考えます。そうでない場合には計画変更を行い、個別処理への切り替えという手法を積極的に採用するべきで、そうすることで、持続可能な社会の実現に向けて、大きく貢献できると考えます。そのためにも、浄化槽がかかえている問題点、課題については業界全体でスピード感をもって解決していくことも必要です。

2050年カーボンニュートラルに向けて、浄化槽分野での脱炭素への取り組みについても大きな課題の一つとして捉え、維持管理業者が出来るCO₂削減に向けた取り組みを強化して実施してまいりましょう。また、温暖化、気候変動による豪

雨災害の発生頻度は近年、あきらかに増加しており、また、地震列島でもある日本において、南海トラフ巨大地震の発生時期が2035年±5年と予測する専門家もいるなど、災害に対する備えも、もう一方で必要不可欠な時代になっています。課題が山積する時代に生きるからこそ、しっかりと先を見据えて前を向き、行動を起こしていきましょう。」とあいさつした。



続いて、環境整備議員連盟会長、逢沢一郎衆議院議員、環境省環境再生・資源循環局角倉一郎次長、農林水産省地域整備課武井一郎課長からあいさつをいただいた後、石井正弘参議院議員の乾杯の発声により開宴した。



150L・200L ブロワがリニューアル

リニア駆動フリーピストン方式採用で
消費電力削減・高耐久を実現



NEW
メドーブロワ®
LA-150F/LA-200F

低消費電力
最大約19%消費電力を低減(当社比)
電気代節約、CO₂削減に貢献

長寿命
可動部品はピストンのみ
リニア駆動フリーピストン方式を採用

安心
サーマルプロテクタ搭載
異常加熱すると自動停止
(温度が下がると自動復帰)

メンテナンスが容易
フィルタ、ピストン交換は
ネジを緩めるだけの簡単作業

低作動音
屋外、夜間運転を考慮した静音設計

製品外観



リニア駆動フリーピストン方式

メドーブロワ®



ブロワ検索

修理研修受付中／デモ機依頼お気軽に！

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

メドー事業部 リニア販売部

〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258

www.nitto-kohki.co.jp



片山さつき参議院議員から新年の挨拶と激励の言葉をいただき、環境省からは、角倉次長のほか松崎裕司廃棄物適正処理推進課長、松田尚之廃棄物規制課長、沼田正樹浄化槽推進室長にご出席いただいた。

また、関係団体からも多くの来賓の方々にご出席いただき、新年のあいさつや情報交換が和やかな雰囲気の中活発に行われ、大変有意義な会となった。

終わりに、全国環境連永野孝明副会長が閉会の言葉を述べ、新春懇談会は滞りなく閉会した。



令和6年度 第5回理事会を開催

全国環境連は、去る1月15日に第5回理事会を開催し、新春懇談会に関する報告や令和7年度予算、第21回全国大会に関する件等を審議、決定した。

○日 時：令和7年1月15日(水) 16時～

○会 場：海運クラブ

○理事数及び出席理事数：

理事 23名、出席理事 22名（うち WEB 出席 1）

○概 要：事務局より、出席理事数が定款規定の定数を満たしており本理事会が成立している旨を報告。その後、定款の定めにより河野会長が議長となり議案の審議に入った。

1. 新春懇談会について

進行概要と来賓の出席状況について説明があった。

2. 浄化槽整備推進関係 令和6年度補正予算(案)及び令和7年度予算(案)について

浄化槽推進室から出された各予算(案)について資料に基づき説明があり、令和7年度予算より、市町村が定める浄

化槽長寿命化計画等に基づく浄化槽の改築・更新事業について助成が拡充されているとの報告があった。

3. 第21回全国大会について

10月24日岡山プラザホテルにおいて開催予定の令和7年度全国大会の概要について説明があり、登録料等について協議した。

4. 連合会の運営等諸般について



浄化槽整備推進関係 令和7年度予算(案)の概要

政府は12月27日に令和7年度予算案を閣議決定し、循環型社会形成推進交付金(浄化槽分)に前年度と同額の86億円が計上された。

生活環境等に重大な支障が生じるおそれがある「特定既存単独処理浄化槽」の転換に向けて、対象となる高齢世帯における経済的負担の軽減に向けた財政支援の強化と併せて、適正な維持管理を徹底するため、浄化槽台帳の整備や少人数高齢世帯の維持管理費を支援する。また、防災・減災、国土強靱化の観点から、老朽化した合併処理浄化槽の更新を助成対

象に追加するとともに、浄化槽の被災状況の迅速な把握と早期復旧を図る台帳システム整備等に対する支援を拡充し、併せて、引き続き令和6年能登半島地震で被災した個人設置型浄化槽の災害復旧に対する支援を行う。

浄化槽システムの脱炭素化推進事業には前年度と同額の18億円、地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業には20億円の内数とした。

浄化槽の整備(循環型社会形成推進交付金等(浄化槽分))

※廃棄物処理施設整備交付金を含む。



【令和7年度予算(案) 8,613百万円(8,613百万円)】
【令和6年度補正予算額 500百万円】

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や維持管理の向上等を支援します。

1. 事業目的

- ・現在でも全国で未だに約830万人が単独処理浄化槽やくみ取り槽を使用しており、生活排水が未処理となっている状況。
- ・令和8年度の汚水処理施設の概成目標の達成のため、単独処理浄化槽やくみ取り槽の合併処理浄化槽への転換を促進する必要。特に、生活環境等に重大な支障が生じるおそれのある「特定既存単独処理浄化槽」の転換に向けた指導等を強化するとともに、対象となる高齢世帯における経済的負担の軽減に向けた支援が必要。あわせて、適正な維持管理を徹底するため、浄化槽台帳の整備や少人数高齢世帯の維持管理費を支援。
- ・災害対応・強靱化のため、老朽化した合併処理浄化槽の更新とともに浄化槽の被災状況の迅速な把握と早期復旧を図る台帳システム整備を支援。

2. 事業内容

市町村が行う浄化槽事業に対して交付金により支援。

※令和7年度予算では下線の助成メニューを拡充。また、令和7年度予算より、交付金により整備される浄化槽は、電子化された浄化槽台帳に登録した上で、当該台帳に基づき、必要な場合に維持管理の指導等が行われるものであることを交付要件に追加。

○環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業(交付率1/2)

単独処理浄化槽・くみ取り槽から合併処理浄化槽(環境配慮型浄化槽に限る)に事業計画額の6割以上転換する事業

○汚水処理施設概成に向けた浄化槽整備加速化事業(交付率1/2) <R8までの時限措置>

○単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換

特定既存単独処理浄化槽(法に基づく維持管理を実施している少人数高齢世帯に限る)から合併処理浄化槽への転換に対する交付金基準額の増額 <R11までの時限措置>

○浄化槽災害復旧事業

○少人数高齢世帯に対する維持管理負担軽減事業

○市町村が定める浄化槽長寿命化計画等に基づく浄化槽の改築・更新事業

○浄化槽整備効率化事業

浄化槽台帳整備(浄化槽の被災状況等をオンライン等で把握・情報集約する台帳システム整備含む)、計画策定・調査(特定既存単独処理浄化槽に係る調査含む)、講習会等

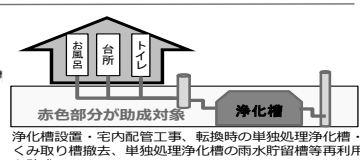
3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金(交付率1/3、1/2)
- 請負先/交付対象 地方公共団体
- 実施期間 平成17年度～

お問合せ先：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 電話：03-5501-3155

4. 事業イメージ

○浄化槽のイメージ



○事業の流れ



○費用負担

浄化槽設置整備事業(個人設置型)

個人(6割相当) 2/3又は1/2 1/3又は1/2
市町村 国

※浄化槽災害復旧事業については交付対象事業費の全額が交付対象(要協議)

公共浄化槽等整備推進事業

2/3又は1/2 1/3又は1/2
市町村 国

※市町村は、別途、負担金(事業費の1割程度)を個人より徴収

少人数高齢世帯に対する維持管理負担軽減事業

個人(5割相当) 2/3又は1/2 1/3又は1/2
市町村 国

MURITA × KAO

共同開発

臭気・衛生対策製品

花王が開発した液をモリタエコノス独自技術で効率的に噴霧!

ポンプオイルに添加するだけ!



菌・ウイルス除去に

ミラクルキヨラ

菌・ウイルスを99%除去※
エタノール不使用で引火の心配なし!

※すべての菌・ウイルスを除去するわけではありません。

生ゴミ臭対策に

ミラクルキヨラ

専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに!

不快臭対策に

ミラクルチェンジャー

不快な悪臭を心地よい香りに変化!



環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社モリタエコノス

Webサイトはこちら



このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。
お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

浄化槽システムの脱炭素化推進事業



【令和7年度予算(案) 1,800百万円(1,800百万円)】



浄化槽システムの脱炭素化に向けて、エネルギー効率の低い既設中大型浄化槽への先進的省エネ型浄化槽や再エネ設備の導入を支援します。

1. 事業目的

浄化槽分野における脱炭素化の推進に向けて、エネルギー効率の低い既設の中大型浄化槽について、最新型の高効率機器(高効率プロフ等)への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を推進することにより、大幅なCO2削減を図る。

2. 事業内容

中大型浄化槽について、最新型の高効率機器への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再エネ設備の導入を行うことにより大幅なCO2削減を図る事業を支援する。

①既設の中大型合併処理浄化槽に係る高効率機器への改修
・最新型の高効率機器(高効率プロフ等)への改修とともにプロフ稼働時間を効率的に削減可能なインバータ及びタイマー等の設置を要件とする。
・改修によって当該機器のCO2排出量を20%以上削減(③の再エネ設備導入によるCO2排出量の削減を含む)

②既設の中大型合併処理浄化槽から先進的省エネ型浄化槽への交換
・最新の省エネ技術による先進的省エネ型浄化槽への交換を要件とする。
・交換によって既設浄化槽のCO2排出量を46%以上削減(③の再エネ設備導入によるCO2排出量の削減を含む)

※さらに、規模見直し等により高い削減率を達成するものは優先採択

③中大型合併処理浄化槽への再エネ設備の導入
・上記①又は②と併せて行う再エネ設備(太陽光発電・蓄電池等)の導入を支援する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業(補助率:1/2)
- 補助対象 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 令和4年度～令和8年度

お問合せ先: 環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課浄化槽推進室 電話: 03-5501-3155

4. 事業イメージ



先進的省エネ型浄化槽

出典: フジクリーン工業(株)HP



高効率プロフ

画像提供: (一社)浄化槽システム協会



スクリーン



インバータ制御

画像提供: (一社)浄化槽システム協会



再生可能エネルギー設備

地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業



【令和7年度予算(案) 2,000百万円(2,000百万円)】

【令和6年度補正予算額 2,000百万円】



災害・停電時に公共施設等へエネルギー供給が可能な再生可能エネルギー設備等の導入を支援します。

1. 事業目的

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和2年12月11日閣議決定)における「災害時に役立つ避難施設防災拠点の再エネ・蓄エネ設備に関する対策」として、また、地球温暖化対策計画(令和3年10月22日閣議決定)に基づく取組として、地方公共団体における公共施設等への再生可能エネルギーの率先導入を実施することにより、地域のレジリエンス(災害等に対する強靱性の向上)と地域の脱炭素化を同時実現する。

2. 事業内容

公共施設等※1への再生可能エネルギー設備等の導入を支援し、平時の脱炭素化に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮を可能とする。

設備導入事業として、再生可能エネルギー設備、熱利用設備、コジェネレーションシステム(CGS)及びそれらの附帯設備(蓄電池※2、充放電設備、自営線、熱導管等)並びに省CO2設備(高機能換気設備、省エネ型浄化槽含む)等を導入する費用の一部を補助。

※1 地域防災計画により災害時に避難施設等として位置付けられた公共施設及び公用施設、又は業務継続計画により災害等発生時に業務を維持するべき公共施設及び公用施設(例:防災拠点・避難施設・広域防災拠点・代替庁舎など)に限る。

※2 蓄電池としてEVを導入する場合は、通信・制御機器、充放電設備又は充電設備とセットで外部給電可能なEVに蓄電容量の1/2×4万円/kWhを補助。

※ 都道府県・指定都市による公共施設等への太陽光発電設備導入はPPA等に限る。

3. 事業スキーム

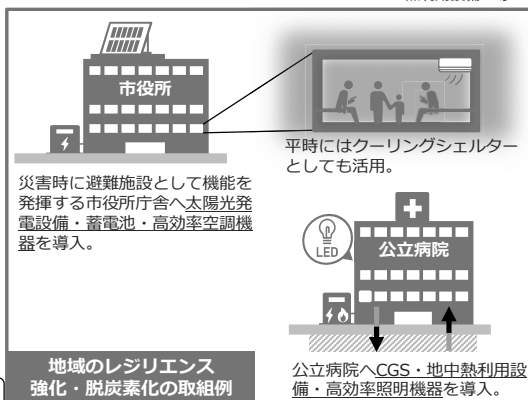
- 事業形態 間接補助 都道府県・指定都市:1/3、市区町村(太陽光発電又はCGS):1/2、市区町村(地中熱、バイオマス熱等)及び離島:2/3
- 補助対象 地方公共団体 PPA・リース・エネルギーサービス事業で地方公共団体と共同申請する場合に限り、民間事業者・団体等も可
- 実施期間 令和3年度～令和7年度

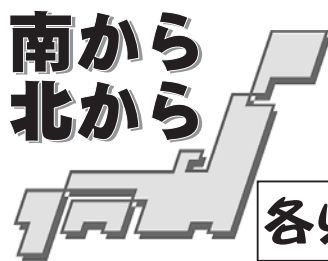
お問合せ先: 環境省大臣官房地域脱炭素推進推進官グループ地域脱炭素事業推進課 電話: 03-5521-8233 (浄化槽について) 環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課浄化槽推進室 電話: 03-5501-3155

4. 支援対象

- 地域防災計画により災害時に避難施設等として位置付けられた公共施設等
- 業務継続計画により、災害等発生時に業務を維持するべき公共施設等

- ・再エネ設備
- ・蓄電池
- ・CGS
- ・省CO2設備
- ・熱利用設備 等





各県組合報告

熊本県

▼令和6年度第3回役員会(第14回理事会)

12月6日(金) 15時00分より人吉市内にて開催。次の議案等の審議及び報告を行った。

1. 創立50周年記念事業の件
2. 令和7年業務提携式の件
3. 第52回通常総会の件
4. 全国環境連合会報告
5. くまもと浄化槽適正管理促進協議会に関する件
6. 事業委員会に関する件
7. 合理化対策委員会に関する件 他



▼熊本県環境事業団体連合会令和6年12月定例会

12月10日(火) 17時00分より熊本市内にて開催。次の議案等の審議及び意見交換



を行った。

1. くまもと浄化槽適正管理促進協議会に関する件
2. 令和6年9月30日付け環境省通知に関する件
3. 浄化槽法改正の動きに関する件
4. 災害支援に関する件 他

▼第8回創立50周年記念事業実行委員会

12月20日(金)

15時00分より組合会議室にて開催。11月15日(金)開催の記念行事の評価(振り返り)や収支状況、記念誌の作成状況等について確認を行った。



▼令和7年度第1回理事会

1月10日(金)

15時00分より組合会議室にて開催。次の議案等の審議及び報告を行った。

1. 第52回通常総会に関する件
2. 令和7年業務提携式の件
3. 創立50周年記念事業の件
4. 「次期熊本県浄化槽台帳管理システム(仮称)の整備に関する基本方針」(案)への意見の件
5. 県職員新規採用職員2年目研修における現場研修の受入先募集の件
6. 全国環境連関係
7. (公社)熊本県浄化槽協会関係
8. 熊本県環境事業団体連合会関係
9. 事業委員会関係 他



金沢から
全国、海外に・・・
誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

エアーポンプブロー ー ガス検知器・送排風機
電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
配水管清掃機器・薬剤 浄化槽関連部品・FRP補修剤
給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
マンホール・その他
水質検査器・理化学機器 浄化槽用消毒薬・維持管理剤

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348

FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp

http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101

TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718

▼第9回創立50周年記念事業実行委員会

1月20日(金)
13時30分より組合会議室にて開催。記念誌の作成状況等について確認を行った。



▼令和6年度「浄化槽フォーラム・熊本」第3回幹事会

熊本県浄化槽普及促進協議会(事務局:人吉市)の主催により、1月27日(月)13時30分から(公社)熊本県浄化槽協会にて開催された幹事会に参加した。昨年11月6日(水)に人吉市で開催された「浄化槽フォーラム・熊本」の収支決算報告や反省点等についての話し合いが行われた。

福岡県

福岡県環境整備事業協同組合連合会は、去る1月31日(金)17時から八仙閣において1月定例理事会を開催した。

一、執行部報告

1. 全国環境連関係

イ. 浄化槽整備推進関係令和6年度補正予算及び令和7年度浄化槽当初予算(案)について

◎令和6年度補正予算(案)

○ 災害に強い浄化槽の整備による防災対策の拡充(循環型社会形成推進交付金(浄化槽分))

補正予算(案) 5億円

○ 地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業(エネルギー対策特別会計)

補正予算(案) 20億円の内数

◎令和7年度当初予算(案)

(1) 浄化槽整備推進のための国庫助成

○循環型社会形成推進交付金(浄化槽分) 86億円

○二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

- ・浄化槽システム脱炭素化推進事業 18億円
- ・地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業 20億円の内数

以上が浄化槽整備推進関係令和6年度補正予算(案)及び令和7年度当初予算(案)となっていることが資料が配布され報告された。

ロ. 第21回全国大会について

令和7年10月24日に岡山市の岡山プラザホテルで開催される。

大会の概要(案)が配布され説明された。

ハ. 令和8年度環境整備関係概算予算要求に係る要望書の作成に向けた意見の取りまとめについて(依頼)について

全国環境連より、表題の件について、各県に要望、意見が求められていることから、各単協の要望、意見を福環連事務局へメール又はFAXでの提出が求められた。

2. 浄化槽法定検査受検促進・調査事業における実態調査の実施について

県廃棄物対策課より、令和6年9月30日付けで協力依頼があった令和6年度浄化槽法定検査受検促進・調査事業において、昨年度事業の未回答及び未受検者に対して実態調査が行われることが報告。また、今後、浄化槽の清掃状況等についての照会が行われる場合もあることも申し添えられ、協力のお願いがなされた。

3. 令和6年度浄化槽維持情報収集事業について(依頼)

改正浄化槽法に基づき設置情報と法定検査情報を統合した「福岡県浄化槽台帳システム」が整備され、保守点検や清掃の実施時期・回数等の「維持管理情報」についても収載され、浄化槽の整備や適正管理の推進に活用される。各社で管理している浄化槽に対する令和5年度分の維持管理の報告と管理状況が不明の浄化槽の情報について依頼されている。報告体制を確立して行くことから

溶存酸素計 DO計	pH/ORP計	MLSS/界面計	塩素イオン計
ガルバニ式センサー交換タイプ DO-11Z  測定範囲 DO : 0.00~20.00mg/L 飽和率 : 0~200% 水温 : -5.0~50.0℃	pH/ORP計 KP-11Z pH計 KP-11F  計量法 型式承認 申請中 測定範囲 pH : 0.00~14.00 pH ORP : 0~±1999mV (KP-11Zのみ標準) 温度 : 0.0~50.0℃	MLSS/界面計 SS-10Z MLSS計 SS-10F  測定範囲 MLSS : 0~20000mg/L 水深 : 0.00~5.00m (SS-10Zのみ)	測定レンジ自動切替機能付 CL-11Z  測定原理 固体膜塩素イオン電極法 測定範囲 : 0.1~2000mg/L

その他の営業品目
 濁度計、色度計
 UV式COD計、導電率計

KRK 笠原理化学工業株式会社
 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8 TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157

<https://www.krkjpn.co.jp>

協力のお願いがなされている。

二、各部報告

浄化槽水処理部、青年部より報告がなされた。

三、各地区報告

四、その他

1. 県民の絆配布
2. 2月・3月・4月理事会開催
3. 第38回通常総会開催

山 口 県

▼第4回理事会開催

山口県環境整備事業協同組合は、去る12月6日(金)に事務局会議室(山口市)において、第4回理事会を開催した。

(1) 令和6年度合特法説明会の結果報告について

今年度の説明会(11月5日～11月29日、県下8カ所)が無事終了した旨の報告があった。その後、各会場の説明者や理事・役員より、説明会後の経過報告等がされた。

(2) 同説明会結果の対応について

合理化事業計画更新までの流れや、来年以降の説明会の方針について共有がされた。

(3) 全国環境連第4回理事会の報告

- ・10月24日に行われた第20回全国大会の収支報告がされた。
- ・事業推進部会からの現況報告として、国際班の都市間連携事業についてと国内災害対策班の災害廃棄物処理業務における資機材調査についての説明がされた。

(4) 組合第35回通常総会の開催地について

山口県東部地区の柳井市で、令和7年6月6日(金)に開催することが決定した。

(5) 組合収支報告

4月から10月までの収支報告がされた。

(6) その他

- ・県内の災害協定締結状況と、浄化槽の維持管理に対する補助金助成を実施している市町の施策概要、組合内

連絡網の加入状況について共有がされた。

・事務局よりポリテクセンター山口での今年度のセミナーについての結果報告と、ポリテクセンターからの情報提供について説明がされた。

・来年度の全国環境連中国地区協議会通常総会が山口県で開催されることが報告された。

・令和6年度浄化槽セミナーが令和7年2月6日(木)に山口県健康づくりセンターで(一社)山口県浄化槽協会と共同で開催される旨の報告がされた。

▼令和6年度表彰受賞祝賀会

令和7年1月24日(金)に山口市の湯田温泉ユウベルホテル松政にて開催した。今年度は2名の受賞があり、県内各地の組合員が出席し盛会となった。

【受賞者】

内山正幸氏(理事)

令和6年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰
川元 正氏(副理事長)

令和6年度山口県環境生活功労者知事表彰

島 根 県

●令和6年12月5日(木)13時30分から、島根県環境整備事業協同組合において、米山理事長ほか11名の理事、監事の出席のもと、今年度第5回目の理事会を開催した。主な審議状況は次のとおり。

1) 島根県との災害協定改定締結について

小倉専務理事から県廃棄物対策課長との協議において、今年度中に知事と保全協会との三者による調印が行われることが報告された。

2) ポリテクセンター研修会の進め方等について

電気設備に係る初級研修が、12月17日、18日の2日間の日程で開催されることと17名の参加予定者名簿が示された。また、研修後行われる人材育成研究会へは森口理事と事務局長が参加することになった。



臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に

デオマジック®VC1オイル

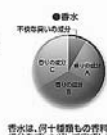
DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VCオイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。
作業者様や地域住民の皆様に大好評です。

- お 得！ 脱臭剤が不要になります。
- 簡 単！ 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ。
- 新技術！ 不快臭を取込んで良い香りに変える技術。

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 横浜部品営業所
〒230-0003
神奈川県横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号
TEL: 045-575-5241 / FAX: 045-575-3271
Email: deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp



消臭のメカニズム



DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VC1オイル



全国ネットの特装自動車の総合メーカー



東邦車輛株式会社

営業本部	TEL: 045-575-9901	信越営業所	TEL: 025-283-6571
直販部	TEL: 045-575-9902	中部支店	TEL: 052-218-5123
直販部直販課	TEL: 045-575-9253	金沢営業所	TEL: 076-223-1191
北海道支店	TEL: 011-633-7101	近畿支店	TEL: 0798-52-2100
東北支店	TEL: 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL: 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL: 022-782-5065	中四国支店	TEL: 082-890-2882
北関東支店	TEL: 0276-89-1551	九州支店	TEL: 092-441-1951
茨城営業所	TEL: 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL: 092-441-0634
関東支店	TEL: 03-3843-3351	南九州営業所	TEL: 099-252-2070

3) 山陰両県役員会について

2月14日(金) 鳥取市においての開催が決定したことを事務局から報告した。

4) 来年度開催の周年事業について

9月19日に松江市においての開催が決まり、内容、テーマなどについて理事からそれぞれ意見聴取が行われた。これらの意見を踏まえ、小倉専務理事と富田理事の2名が事業担当理事として検討することとなった。

5) 青年部の事業報告について

森口理事から、資料に基づき報告があった。

6) その他

・賦課金額の見直し状況について

令和8年度からの改定を目指し、検討することとなった。

・西日本高速道路(株) 中国支社への新年あいさつについて

大久保監事対応となった。

●電気設備に係る初級研修について

12月17日から18日の2日間にかけ、松江市のポリテクセンター島根において、ポリテクセンター山口の野村健司氏を講師に初級「電気系保全実践研修(電気設備編)」が開催され、県下9社から17名が受講した。



長野県

1月24日(金) 長野市 若里市民文化ホール会議室に於いて第6回理事会を開催した。報告、協議事項については以下の通りである。

*役員改選について

*令和7年度 総会・理事会日程案について

*新春講演会・新年会について

5月の総会で現在の理事の任期が終了し、役員改選になることから、各支部に理事を選出してもらうよう依頼した。

また、このあと

開催される長環整新春講演会と新年会の役割分担を決定し、進行内容等を確認した。

15時15分からは同会場にて全国環境連顧問の国安克彦氏による新春講演会をオンライン併用で開催した。

「概成後の長野県における新たな体制整備に向けた提案 社会情勢の変化に対応する新たな体制整備 ～関係者が共有すべき将来像～」と題して、長野県のためにまとめていただいた資料を基に1時間30分お話をいただき、長野県環境部をはじめ、賛助会員や組合員など約30名が聴講した。

18時からは長野市のTHE SAIHOKUKAN HOTELにおいて新年会を行い懇親を深めた。



発行者

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 AKビル5階B



全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長：河野正美

TEL 03-5207-5795 FAX 03-5207-5796

年間購読料 2,200円 1部 220円 消費税含

し尿収集容量表示計 KANTARO® 環太郎

“環太郎”は収集量の正確な計測と、料金の明瞭化でし尿処理業務の最適化を推進します。

簡単操作で 速くて 正確 そして 安価!

特許: 第2736403・第5742875

◆ 取り付けが簡単!

◆ 安 価!

◆ 高 精 度!

シンプルな構造で、空気/液体分離用タンクや計量器のロードセルは不要。出張取り付けも可能です。



実績24年 ありがとうございます

IC SOKKI
IC Measuring Instruments Co., Ltd.

アイシー測器株式会社

URL <http://ic-sokki.sakura.ne.jp> E-mail ic-sokki@arion.ocn.ne.jp

本社/〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2丁目14-46
TEL.06-6384-1543(代) FAX.06-6388-8557



収集量表示計